



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年7月2日

上場会社名 株式会社 ニューテック 上場取引所 東
 コード番号 6734 URL <http://www.newtech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠原 康人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 宮崎 有美子 TEL 03-5777-0888
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成27年2月期第1四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	367	△10.7	△47	—	△52	—	△52	—
26年2月期第1四半期	410	9.2	1	—	0	—	0	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	△27.61	—
26年2月期第1四半期	0.14	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	2,491	937	37.6	489.02
26年2月期	2,614	1,008	38.6	526.33

（参考）自己資本 27年2月期第1四半期 937百万円 26年2月期 1,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	—	—	10.00	10.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,000	△0.4	9	△55.9	2	△86.7	1	△91.2	0.84
通期	2,250	6.4	99	25.7	86	26.3	85	26.9	44.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年2月期1Q	2,081,000株	26年2月期	2,081,000株
27年2月期1Q	164,195株	26年2月期	164,195株
27年2月期1Q	1,916,805株	26年2月期1Q	1,916,805株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動が心配されましたが、一過性の消費低迷はあったものの、国内大手企業の業績は円安による輸出企業の回復や為替レートの落ち着きにより、国内景気は堅調に推移しております。こうした状況の中、当第1四半期累計期間における、国内IT関連投資に関しても、設備投資需要は順調に回復しておりますが、公共機関や学校関連の入札案件は競争が激化しており、価格面で厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社ではOEM製品について、更なる組織強化を行い、開発から受注獲得による生産まで一貫した組織による事業拡大と、新規のOEM先の開拓に努めております。一方、主力製品の機能強化、ストレージ製品の高付加価値化に寄与するソリューション販売（サーバー、ストレージ及びソフトウェアを組み合わせ、システムとして納入する販売形態）の販売強化及びサポート・サービスの充実に継続して取り組んでまいりました。

また、主力製品のSupremacyシリーズの後継機種やOEM製品のニュー・ミラーカードについては、開発費の集中投入による迅速な製品化に取り組んでおります。この様な状況の中、当第1四半期累計期間の売上高は367百万円（前年同期比10.7%減）となりました。製品売上に関しては、OEM向けの製品（ミラーカード、小型NAS）の出荷は168百万円（前年同期比6.3%増）と順調に伸びておりますが、主力製品Supremacyシリーズについては、後継機種を開発中であり、RAID及びNASの一般営業（公共機関、学校、商社）の販売は現行機種による対応で199百万円（前年同期比21.3%減）と不振でありました。その結果、ストレージ本体及び周辺機器を含む製品売上高は252百万円（前年同期比14.1%減）と減少しました。また、当第1四半期累計期間のサービス売上は、製品売上の減少により、63百万円（前年同期比6.7%減）と伸び悩みました。

一方、損益面につきましては、売上が前年を下回ったことと、利益率の低いOEM関連売上の伸びにより、売上総利益は92百万円（前年同期111百万円）と前年同期比17.3%減となりました。また、販売管理費が開発費の集中投入により前年同期比27.2%増の140百万円であったことから、営業損失47百万円（前年同期は営業利益1百万円）、経常損失52百万円（前年同期は経常利益0百万円）、四半期純損失52百万円（前年同期は四半期純利益0百万円）となりました。

品目別の売上高は、次のとおりであります。

品目別	期別		前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		前事業年度	
			自平成25年3月1日 至平成25年5月31日		自平成26年3月1日 至平成26年5月31日		自平成25年3月1日 至平成26年2月28日	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
ストレージ本体	278	36.1	230	△17.2	1,481	23.2		
周辺機器	15	4.6	21	42.2	79	△7.4		
製品小計	294	34.0	252	△14.1	1,560	21.2		
商品	48	△40.3	50	4.6	277	△23.4		
サービス	68	△9.7	63	△6.7	275	△6.9		
合計	410	9.2	367	△10.7	2,113	8.6		

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して123百万円減少し2,491百万円となりました。変動の主なものは、売上債権の196百万円の減少、たな卸資産の69百万円の増加等であります。

負債は、前事業年度末と比較して51百万円減少し1,554百万円となりました。変動の主なものは、買掛債務の59百万円の減少、未払費用の21百万円の減少、前受収益の21百万円の増加等であります。

純資産は、前事業年度末と比較して71百万円減少し937百万円となりました。変動の主なものは、配当金の支払19百万円、四半期純損失52百万円の計上によるものであります。自己資本比率は37.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の第2四半期（累計）及び通期業績予想につきましては、平成26年4月11日付の「平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」において公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

- ・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

- ・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

- ・たな卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,643,398	1,651,453
受取手形及び売掛金	480,638	284,507
商品及び製品	61,227	79,451
仕掛品	60,461	78,553
原材料	171,627	204,816
前渡金	618	—
前払費用	73,854	76,537
その他	10,649	5,630
貸倒引当金	△141	△141
流動資産合計	2,502,334	2,380,809
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	14,200	13,693
工具、器具及び備品(純額)	19,708	17,726
有形固定資産合計	33,909	31,419
無形固定資産		
その他	3,707	3,491
無形固定資産合計	3,707	3,491
投資その他の資産		
投資有価証券	50,887	51,750
関係会社株式	3,000	3,000
差入保証金	19,859	19,859
長期前払費用	1,176	1,153
投資その他の資産合計	74,922	75,763
固定資産合計	112,538	110,674
資産合計	2,614,873	2,491,483
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,818	110,822
1年内返済予定の長期借入金	470,663	476,288
未払金	31,985	41,353
未払法人税等	3,670	4,674
製品保証引当金	18,368	18,171
未払費用	40,550	18,835
前受収益	289,782	311,683
預り金	1,877	8,668
その他	8,300	550
流動負債合計	1,036,015	991,047
固定負債		
長期借入金	564,421	557,229

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産除去債務	4,221	4,240
繰延税金負債	1,339	1,620
固定負債合計	569,981	563,089
負債合計	1,605,996	1,554,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,310	496,310
資本剰余金	516,925	516,925
資本準備金	105,515	105,515
その他資本剰余金	411,410	411,410
利益剰余金	72,442	356
自己株式	△78,265	△78,265
株主資本合計	1,007,412	935,326
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,464	2,020
評価・換算差額等合計	1,464	2,020
純資産合計	1,008,877	937,346
負債純資産合計	2,614,873	2,491,483

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	410,955	367,158
売上原価	299,032	274,599
売上総利益	111,922	92,559
販売費及び一般管理費	110,361	140,426
営業利益又は営業損失(△)	1,560	△47,866
営業外収益		
為替差益	2,674	137
未払配当金除斥益	—	216
その他	623	—
営業外収益合計	3,298	353
営業外費用		
支払利息	3,528	4,272
その他	611	684
営業外費用合計	4,140	4,956
経常利益又は経常損失(△)	718	△52,469
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	718	△52,469
法人税、住民税及び事業税	475	475
法人税等調整額	△26	△26
法人税等合計	448	448
四半期純利益又は四半期純損失(△)	270	△52,918

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)

当社は、ストレージ(外部記憶装置)本体及び周辺機器の開発、製造、販売及び保守サービスを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)

当社は、ストレージ(外部記憶装置)本体及び周辺機器の開発、製造、販売及び保守サービスを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。